

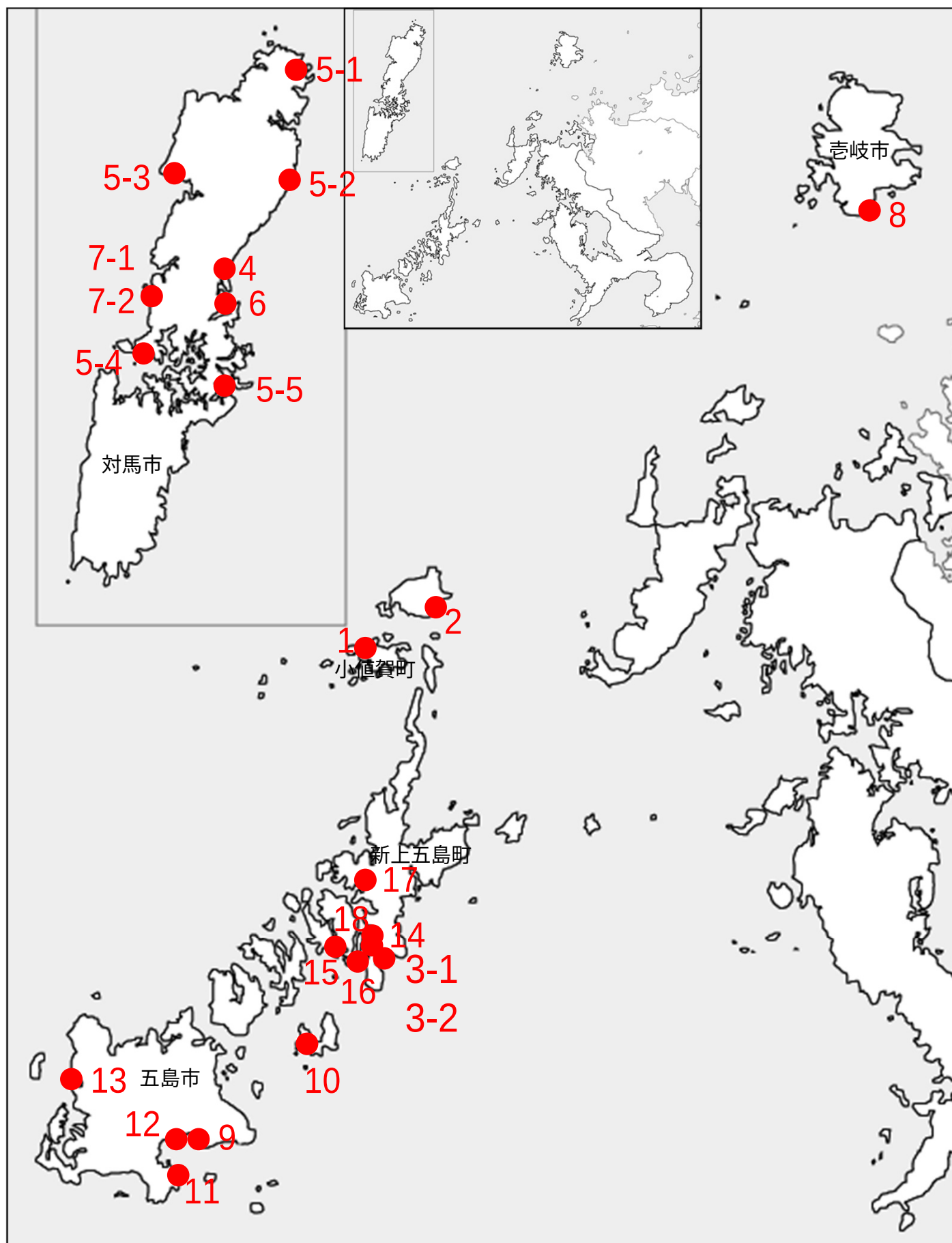
農山漁村地域整備計画

計画の名称 長崎県漁港漁村地域（離島）整備計画
計画策定主体 長崎県、対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町
対象市町村 佐世保市、対馬市、壱岐市、五島市、小値賀町、新上五島町
計画の期間 令和4年度～令和8年度（5年間）
計画の目標 長崎県離島の漁港漁村地域においては、人口減少や漁業者の高齢化等により、過疎化や水産業の活力低下などの影響が現れてきている。 このため、長崎県総合計画チェンジ＆チャレンジ2025の基本戦略「環境変化に対応し、一次産業を活性化する」に基づき、施策として掲げる「漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備」を推進し、女性や高齢者等に対応した施設整備をはじめ、水産業や漁村の暮らしを下支えする漁港・漁村の環境づくりを目指す。 また、近年全国的に頻発する地震・大雨・台風・高潮などの自然災害に備え、災害に強く、安全・安心な暮らしと生命財産を守るための施設整備等を進める必要がある。 このため、長崎県総合計画チェンジ＆チャレンジ2025の基本戦略「安全安心で快適な地域を創る」に基づき、施策として掲げる「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」を踏まえ、高潮・波浪等への対策に寄与する施設整備をはじめとした防災・減災対策の充実を図る。
定量的指標 （漁港漁村環境整備事業） ○斑地区・対馬北部地区・千尋藻地区・豊玉西地区・五島福江地区・新杓島地区・倭寇地区・五島西地区・宿ノ浦地区・土井ノ浦地区・道土井地区において、漁業活動に要する作業時間の短縮（整備前の3/4以下） （整備前の3/4以下） （6回/年→0回/年） ○奈良尾地区において、時化時の漁船避難回数の削減（6回/年→4回/年） （312日/年→91日/年） ○佐賀地区において、定置網の補修作業日数の短縮（312日/年→91日/年） （8回/年→0回/年） ○初山地区において、時化時の漁船避難回数の削減（8回/年→0回/年） （768t→876t） ○神部地区において、養殖魚の年間生産量の増加（768t→876t） （海岸保全施設整備__漁港） ○平地区・増田地区・桐古里地区において、高潮等の被害から防護する面積の確保（0ha→5.59ha） （0ha→3.19ha） （効果促進事業） ○奈良尾地区において、ヨットの寄港数の増加（34隻→68隻）
対象事業 別紙のとおり

農山漁村地域整備計画の対象事業

事業名	事業型		事業実施主体	関係市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内の総事業費 (千円)	費用対効果	備考
	事業型	事業箇所名 (地区名)							
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	斑	長崎県	小値賀町	東防波堤(改良) 50m -2m物揚場(B)(改良) 30m	R4～R5	(294,940) 296,340	総事業費が10億円以下のため未記入	1
海岸保全施設整備__漁港	高潮対策	平	長崎県	佐世保市	離岸堤 202m 離岸堤(改良) 388m	R4	(100,000) 100,000	総事業費が10億円以下のため未記入	2
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	奈良尾	長崎県	新上五島町	(60) '(内防波堤(1) 60m) (60) (内防波堤(2) 45m) (-)' 内防波堤(1) 1式 (-)' 内防波堤(2) 11m	(R4～R7) R4～R6	(490,534) 454,000	総事業費が10億円以下のため未記入	3-1
効果促進	-	奈良尾	長崎県	新上五島町	付属施設 1式	(-)' R7～R8	(-)' 20,000	効果促進事業のため未記入	(-)' 3-2
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	佐賀	長崎県	対馬市	護岸(改良) 15m 岸壁(-3.0m)(改良) 40m 船揚場(改良) 30m 用地舗装(A) 992m2 B物揚場(改良) 30m	R4～R5	(127,040) 120,890	総事業費が10億円以下のため未記入	4
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	対馬北部	長崎県	対馬市	(泉) 用地(舗装) 700m2 B岸壁(改良) 16m (琴) 用地(舗装) 2,700m2 A物揚場(改良) 60m (伊奈) 伊奈B道路(改良) 100m (水崎) B岸壁(改良) 22m (三浦湾) 岸壁(改良) 60m	(R4～R7) R4～R8	(311,600) 312,200	総事業費が10億円以下のため未記入	5-1(泉) 5-2(琴) 5-3(伊奈) 5-4(水崎) 5-5(三浦湾)
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	千尋藻	対馬市	対馬市	-5.0m岸壁(改良) 8m -3.0m岸壁(改良) 42m	R5～R8	(152,650) 152,650	総事業費が10億円以下のため未記入	6
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	豊玉西	対馬市	対馬市	C岸壁(改良) 50m 浮桟橋 1基	(-)' R7～R8	(-)' 314,050	総事業費が10億円以下のため未記入	(-)' 7-1(唐崎) (-)' 7-2(小綱)
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	初山	杵岐市	杵岐市	西突堤(新設) 53.5m 東突堤(新設) 33.0m -3.0m岸壁取付(改良) 27.7m -2.0m物揚場(改良) 120m 用地舗装 1,900㎡ その他施設(看板) 2箇所	R4～R8	(627,184) 913,518	総事業費が10億円以下のため未記入	(7) 8
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	五島福江	五島市	五島市	突堤 60m 物揚場(改良) 39m	R4	(101,500) 101,500	総事業費が10億円以下のため未記入	(8) 9
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	新柊島	五島市	五島市	防波堤(改良) 119m 護岸(改良) 61m 物揚場(改良) 55m 浮桟橋(改良) 1基	R4～R8	(600,330) 600,036	総事業費が10億円以下のため未記入	(9) 10
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	倭寇	五島市	五島市	船揚場 10m 突堤(改良) 30m 護岸(改良) 40m 用地(舗装) 4,500m2	R4～R6	(183,087) 178,942	総事業費が10億円以下のため未記入	(10) 11
海岸保全施設整備__漁港	高潮対策	増田	五島市	五島市	護岸(改良) 70m	R4～R5	(48,898) 48,898	総事業費が10億円以下のため未記入	(11) 12
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	五島西	五島市	五島市	-3m岸壁 54m -3m泊地(改良) 2,800m2 用地 450m2	R6～R8	(400,450) 399,864	総事業費が10億円以下のため未記入	(12) 13
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	宿ノ浦	新上五島町	新上五島町	-2m泊地 2,000m2 -2m物揚場 60m (1000) 用地 924m2 道路 76.0m	R4～R6	(385,300) 385,300	総事業費が10億円以下のため未記入	(13) 14
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	土井ノ浦	新上五島町	新上五島町	浮桟橋 1基	R4～R6	(274,200) 274,200	総事業費が10億円以下のため未記入	(14) 15
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	神部	新上五島町	新上五島町	消波堤 15m	R4～R6	(247,880) 247,880	総事業費が10億円以下のため未記入	(15) 16
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	道土井	新上五島町	新上五島町	南防波堤(改良) 87.5m S護岸(改良) 12.5m D岸壁(改良) 50.0m	R5～R8	(152,800) 152,800	総事業費が10億円以下のため未記入	(16) 17
海岸保全施設整備__漁港	高潮対策	桐古里	新上五島町	新上五島町	(-)' 護岸(改良) 370m	(-)' R7～R8	(-)' 303,770	総事業費が10億円以下のため未記入	(-)' 18
合計 (全体事業費)							(4,498,393) 5,376,838		

長崎県漁港漁村地域 (離島) 整備計画 位置図



農山漁村地域整備計画評価調書

◆計画の概要

計画の名称	長崎県漁港漁村地域（離島）整備計画
対象市町村	佐世保市、対馬市、壱岐市、五島市、小値賀町、新上五島町
計画期間	令和４年度～令和８年度（５年間）
計画の目標	長崎県離島の漁港漁村地域においては、人口減少や漁業者の高齢化等により、過疎化や水産業の活力低下などの影響が現れてきている。 このため、長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025の基本戦略「環境変化に対応し、一次産業を活性化する」に基づき、施策として掲げる「漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備」を推進し、女性や高齢者等に対応した施設整備をはじめ、水産業や漁村の暮らしを支える漁港・漁村の環境づくりを目指す。 また、近年全国的に頻発する地震・大雨・台風・高潮などの自然災害に備え、災害に強く、安全・安心な暮らしと生命財産を守るための施設整備等を進める必要がある。 このため、長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025の基本戦略「安全安心で快適な地域を創る」に基づき、施策として掲げる「災害に強く、命を守る強靱な地域づくり」を踏まえ、高潮・波浪等への対策に寄与する施設整備をはじめとした防災・減災対策の充実を図る。
評価指標	（漁港漁村環境整備事業） ○斑地区・対馬北部地区・千尋藻地区・豊玉西地区・五島福江地区・新杵島地区・倭寇地区・五島西地区・宿ノ浦地区・土井ノ浦地区・道土井地区において、漁業活動に要する作業時間の短縮（整備前の3/4以下） （整備前の3/4以下） （６回/年→０回/年） ○奈良尾地区において、時化時の漁船避難回数の削減（６回/年→４回/年） （312日/年→91日/年） ○佐賀地区において、定置網の補修作業日数の短縮（312日/年→91日/年） （８回/年→０回/年） ○初山地区において、時化時の漁船避難回数の削減（８回/年→０回/年） （768 t →876 t） ○神部地区において、養殖魚の年間生産量の増加（768 t →876 t） （海岸保全施設整備_漁港） ○平地区・増田地区・桐古里地区において、高潮等の被害から防護する面積の確保（０ha→3.19ha） （０ha→5.59ha） （効果促進事業）（ - ） ○奈良尾地区において、ヨットの寄港数の増加（34隻→68隻）
対象事業	漁港漁村環境整備事業 (14) 15地区 海岸保全施設整備事業 (2) 3地区 効果促進事業 (-) 1地区
全体事業費	(4,498,393 千円) 5,376,838 千円

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 斑

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 高潮対策

◆評価

事業箇所名： 平

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	別記様式第2号 備考
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	別記様式第3号 関係機関との連携
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	別記様式第3号 関係機関との連携

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 奈良尾

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 効果促進事業

◆評価

事業箇所名： 奈良尾

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と効果促進目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の効果促進の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 佐賀

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 対馬北部

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 千尋藻

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 豊玉西

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 初山

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 五島福江

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 新杣島

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 倭寇

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型：高潮対策

◆評価

事業箇所名：増田

項目	評価項目		評価	説明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	別記様式第2号 備考
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	別記様式第3号 関係機関との連携
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	別記様式第3号 関係機関との連携

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 五島西

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 宿ノ浦

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 土井ノ浦

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 神部

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、「養殖業の成長産業化」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 漁村再生交付金事業

◆評価

事業箇所名： 道土井

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025と漁村再生目標は指標設定として位置付けている。
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	地域課題として目標を位置づけている。
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	漁港漁村地域の漁村再生の目標・指標を設定している。
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標とされていることから、事後評価ができる適切なものとなっている。	事後評価ができる指標としている。
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	対象事業の実施により発現する効果として適切なものになっている。
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	協議会等の検討状況を踏まえ事業執行を整えている。
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	地域の要望等により実施するものとなっている。

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

(参考) 評価項目チェック

事業型： 高潮対策

◆評価

事業箇所名： 桐古里

項目	評価項目		評価	説 明	事業計画書該当箇所
目標の妥当性	1	関連する計画との整合が図られているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」との整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	地域の課題に適切に対応する目標となっているか。	○	「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」に掲げる課題に応じた目標となっており、地域の課題に適切に対応する目標となっている。	別記様式第2号 備考
整備計画の効果・効率性	1	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか。	○	指標は、漁港漁村地域の「活性化」と「防災安全」に寄与するものであり、目標と定量的指標の整合が図られている。	別記様式第2号 備考
	2	事後評価ができる適切な指標となっているか。	○	事業完了時または年度の事業実績により評価可能な定量的指標としており、事後評価ができる適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
	3	対象事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	指標は、目標との整合が図られており、対象事業の実施により発現する効果であることから、適切なものとなっている。	別記様式第3号 防護面積
整備計画の実現可能性	1	円滑な事業執行の環境が整っているか。	○	対象事業は、地域住民との合意形成が図られており、円滑な事業執行の環境が整っている。	別記様式第3号 関係機関との連携
	2	地元の機運が醸成されているか。	○	対象事業は、地域の要望等により地域の同意のもと実施するものであるため、地元の機運は醸成されている。	別記様式第3号 関係機関との連携

◆評価結果

評価1	○	事業を実施	評価基準	評価1は、全項目に○印がついている。
評価2		計画の見直し		評価2は、1項目でも×印がついている。

農山漁村地域整備計画 チェックシート

(計画名: 長崎県漁港漁村地域(離島)整備計画)

		判断根拠	チェック欄	
			計画主体	農政局
1 対象市町村				
対象市町村は対象事業の受益が記載されているか	・事業の対象受益地である市町村名が正しく記載されている	☒	☐	
	・対象市町村数を右欄に記載してください	(6)		
2 計画の期間				
概ね3～5年の計画期間になっているか	・計画期間(交付期間)が概ね3～5年で設定されており、対象事業の事業期間と合致している	☒	☐	
3 計画の目標				
関連する計画との整合性が図られているか	・都道府県等が作成する農業振興地域整備計画、圏域総合水産基盤整備事業計画、海岸保全基本計画及び国土強靱化地域計画等の関連する計画と整合が図られている	☒		
	達成できる目標となっているか	☒	☐	
	地域の課題に対する目標となっているか	☒	☐	
4 定量的指標				
計画の目標との整合性がとれているか	・計画の目標の達成状況を客観的に判断できる指標となっている	☒	☐	
定量的な指標となっているか	・指標が定性的でなく、事業実施前後の状況が確認できる定量的なアウトカム指標となっている	☒	☐	
計画期間内の事業量と整合が図られているか	・定量的指標値が整備計画期間内の事業量と整合が図られている	☒	☐	
事後評価が出来る適切な指標となっているか	・交付期間終了後又は交付期間終了年度中に成果目標の目標値の実現状況について事後評価を行うことが可能な指標となっている	☒	☐	
5 対象事業				
交付対象事業及びその構成が適切なものとなっているか	・計画の目標及び評価指標の達成のために必要である交付対象事業の構成となっている(不要・不急の事業は含まれていない)	☒	☐	
交付対象事業の事業内容が最新の事業計画書と整合が図られているか	・交付対象事業の事業内容(工期、総事業費等)は最新の事業計画書の内容となっている	☒	☐	
効果促進事業は事業の趣旨・要件に合致しているか	・基幹事業と一体となってその効果を一層高める事業となっており、基幹事業の全体事業費に占める割合が20/100目途となっている	☒	☐	
事業型毎に事業地区単位を基本に記載されているか	・都道府県単位や市町村単位又は事業型を束ね複数の事業地区が記載されていない(事業計画の作成等の都合上、束ねて整理せざるを得ない地区は除く)	☒	☐	
事業名及び事業型を特定できるよう記載されているか	・指定された事業名及び事業型が記載されている	☒	☐	
費用対効果は記載されているか	・費用対効果の記載対象事業は、数値が記載されている ・費用対効果の記載対象外事業は、その理由が記載されている	☒	☐	
6 その他				
提出書類は揃っているか	・対象事業を示した図面が添付されている ・事前評価に関する資料が添付されている	☒	☐	
事前評価が実施され、その結果が公表されているか	・事前評価が実施され、公表「HP、縦覧、その他()」されている(または、公表予定である(令和7年3月))	☒	☐	

※ チェック欄に計画主体、農政局それぞれでチェックを入れる